

2009年3月期 第1四半期決算説明会

2008年8月11日(月)
日本ハム株式会社

目 次

1. 2009年3月期 第1四半期連結業績の総括
2. 2009年3月期の見通し
3. 2009年3月期 第1四半期財務データ

2009年3月期 第1四半期連結業績の総括

1. 2009年3月期 第1四半期連結業績概要
2. 2009年3月期 第1四半期連結業績概要《所在地別セグメント状況》
3. 2009年3月期 第1四半期連結業績ハイライト
4. オペレーティング・セグメント情報
5. 営業利益の第1四半期実績前年差および上期・通期修正計画の要因分析
6. オペレーティング・セグメント情報 加工事業本部
7. オペレーティング・セグメント情報 食肉事業本部
8. オペレーティング・セグメント情報 関連企業本部
9. 海外 主要地域別業績実績

2009年3月期 第1四半期連結業績概要

(単位: 百万円、%)

《連結業績》	2008年3月期実績			2009年3月期実績及び計画					
	第1Q	中間期	通期	第1Q	前年比	中間期	前年比	通期	前年比
売上高	248,834	506,448	1,032,291	266,820	7.2	535,000	5.6	1,075,000	4.1
ハム・ソーセージ	30,561	64,131	132,820	30,674	0.4	64,500	0.6	133,500	0.5
加工食品	45,989	92,387	185,734	47,142	2.5	94,500	2.3	189,500	2.0
食肉	134,727	273,660	557,969	154,651	14.8	306,500	12.0	609,500	9.2
牛肉	53,545	107,587	213,330	56,231	5.0	112,000	4.1	221,500	3.8
豚肉	51,900	107,383	216,436	59,248	14.2	117,000	9.0	232,000	7.2
鶏肉	24,011	48,148	106,669	33,930	41.3	67,000	39.2	134,000	25.6
その他食肉	5,271	10,542	21,534	5,242	△ 0.6	10,500	△ 0.4	22,000	2.2
水産	20,969	42,218	86,226	19,675	△ 6.2	39,500	△ 6.4	80,000	△ 7.2
乳製品	5,323	10,637	22,124	5,572	4.7	11,000	3.4	22,500	1.7
その他	11,265	23,415	47,418	9,106	△ 19.2	19,000	△ 18.9	40,000	△ 15.6
売上原価	203,567	414,614	843,007	215,290	5.8				
売上総利益	45,267	91,834	189,284	51,530	13.8				
売上総利益率	18.2%	18.1%	18.3%	19.3%	1.1				
販売費及び一般管理費	42,407	85,749	171,793	41,789	△ 1.5				
営業利益	2,860	6,085	17,491	9,741	240.6	16,500	171.2	24,000	37.2
税引前利益	2,904	△ 429	4,923	11,852	-	14,500	-	20,000	306.3
当期純利益	1,755	△ 2,229	1,555	7,511	-	9,000	-	12,000	671.7

*米国会計基準を組替えて表示しております。

*前年比は、対前年増減率で表示しております。

2009年3月期 第1四半期連結業績概要《所在地別セグメント状況》

(単位: 百万円、%)

《連結業績》	2008年3月期実績			2009年3月期実績					
	第1Q	中間期	通期	第1Q	前年比	中間期	前年比	通期	前年比
国内売上高	224,082	455,741	936,855	241,406	7.7	483,500	2.8	978,000	2.8
国内営業利益	4,311	8,147	22,053	9,524	120.9	-	-	-	-
国内売上高営業利益率	1.9%	1.8%	2.4%	3.9%	2.0	-	-	-	-
海外売上高	48,038	97,865	187,876	46,512	△ 3.2	99,500	1.7	192,000	2.2
海外営業利益	△ 1,727	△ 2,318	△ 4,722	133	-	-	-	-	-
海外売上高営業利益率	-	-	-	0.3%	-	-	-	-	-

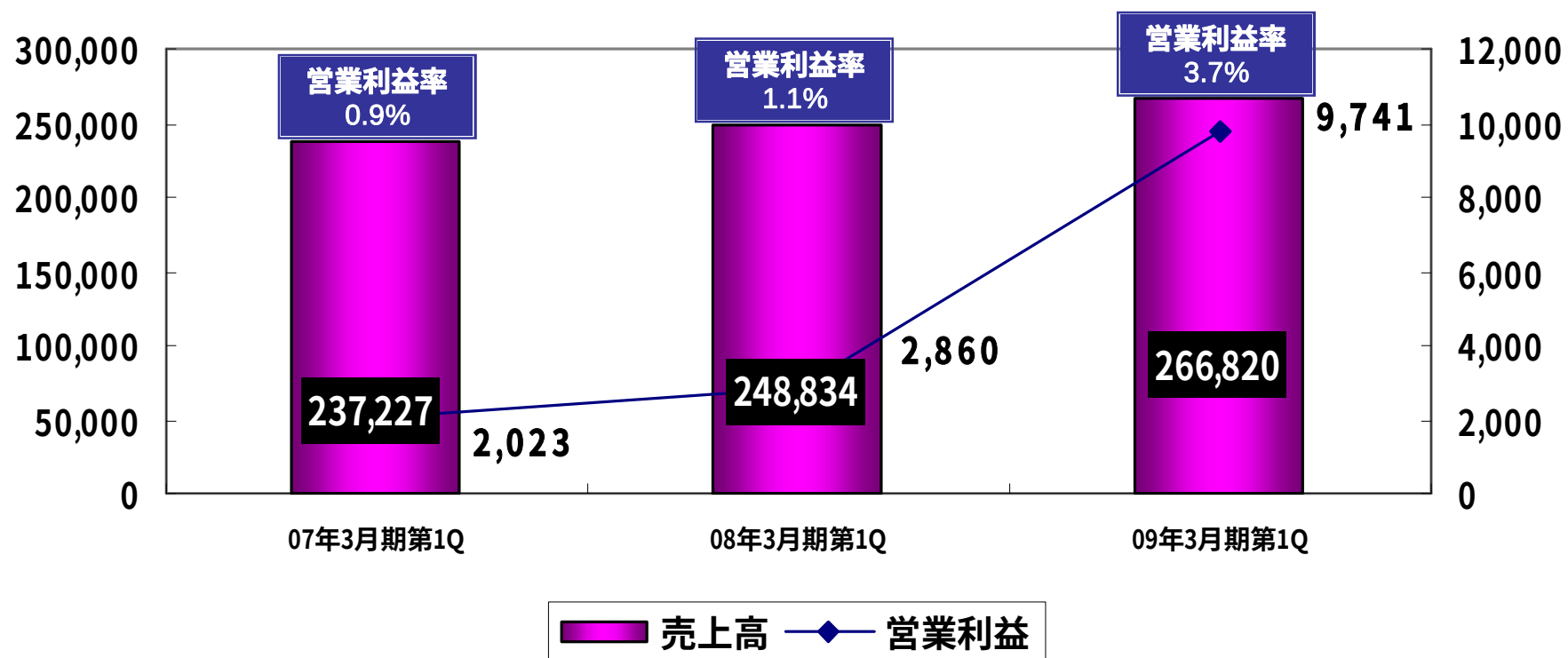
＊所在地別セグメント状況の売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。

＊前年比は、対前年増減率で表示しております。

[売上高 営業利益推移]

(売上高:百万円)

(営業利益:百万円)



◆オペレーティング・セグメント情報

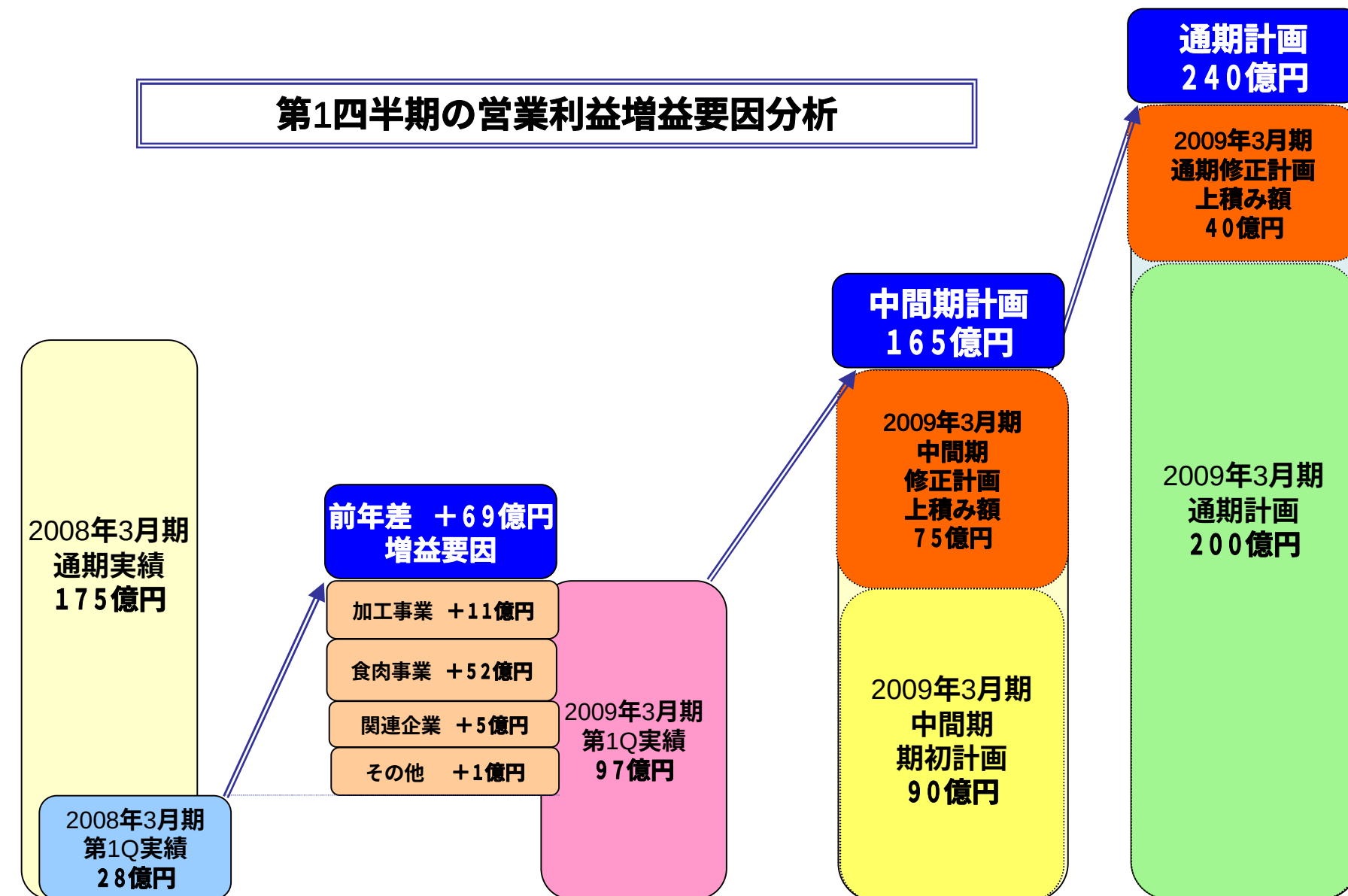
(単位:百万円・%)

	2008年3月期 第1四半期実績			2009年3月期 第1四半期実績		
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
加工事業本部	75,990	▲ 251	-	77,300	842	1.1
食肉事業本部	169,480	3,267	1.9	184,888	8,422	4.6
関連企業本部	32,294	▲ 214	-	32,222	307	1.0
消去・調整他	▲ 28,930	58	-	▲ 27,590	170	-
連結合計	248,834	2,860	1.1	266,820	9,741	3.7

※オペレーティング・セグメント情報の売上高と、当資料P.3の品種別の売上高の数値は一致しません。

※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。

※前年度の各セグメントの実績は、一部の子会社の管轄事業部を変更したため、組替 再表示を行っております。



【加工事業本部】

(単位:百万円・%)

	2008年3月期 第1Q実績	2009年3月期 第1Q実績	前年差	増減率
売上高計	75,990	77,300	1,310	1.7
営業利益	▲ 251	842	1,093	-

【売上高の状況】

- ・ハム・ソーセージ、加工食品とも、2007年9月からの価格改定により販売数量は低下したが、単価上昇の効果で、加工事業本部トータルでは対前年増減率1.7%の増収。

【営業利益の状況】

- ・前期に引き続き、原材料価格、資材・燃料価格の高騰があり、依然厳しい環境。
- ・価格改定やコスト削減策の効果により、加工事業本部トータルでは約11億円の増益。

【食肉事業本部】

(単位:百万円・%)

	2008年3月期 第1Q実績	2009年3月期 第1Q実績	前年差	増減率
売上高計	169,480	184,888	15,408	9.1
営業利益	3,267	8,422	5,155	157.8

【売上高の状況】

- ・鶏肉、豚肉の相場が高値で推移。特に鶏肉は、国産、輸入とも堅調を維持。
- ・食肉事業本部トータルでは、対前年増減率9.1%の増収。

【営業利益の状況】

- ・特に国産・輸入の鶏肉の需要増と、輸入牛肉の収益改善などにより大幅増益。
- ・豪州牛肉事業は、コスト削減策や生産性の改善策の効果により収益改善。
- ・食肉事業本部トータルでは、約52億円の大増益。

【関連企業本部】

(単位: 百万円・%)

	2008年3月期 第1Q実績	2009年3月期 第1Q実績	前年差	増減率
売上高計	32,294	32,222	▲ 72	▲ 0.2
営業利益	▲ 214	307	521	-

【売上高の状況】

- ・マリンフーズは、中国産原料 (ウナギ) の伸び悩みや、水産加工品の原料不足の影響があったが、寿司ネタの売上が好調で増収。
- ・宝幸は、大口ユーザーへの営業強化や、チーズの値上げ効果、国内工場産冷凍食品の伸長などにより増収。
- ・日本ルナは、原料高騰対策として既存品の販売条件の見直しを実施した影響で、店頭での売上が伸びず減収。

【営業利益の状況】

- ・水産、乳製品、その他加工品ともに、原材料価格の高騰などにより、各社とも引き続き非常に厳しい環境下にあるが、水産加工品やチーズの価格改定など、利益改善策を着実に実施し、関連企業本部トータルで約5億円の増益。

【海外 主要地域別売上高】

(単位: 百万円・%)

	2008年3月期 第1Q実績	2009年3月期 第1Q実績	前年差	増減率
海外売上高計	48,038	46,512	▲ 1,526	▲ 3.2
豪州	22,744	21,341	▲ 1,403	▲ 6.2
米州	19,193	18,338	▲ 855	▲ 4.5
その他地域	6,101	6,833	732	12.0

※売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。

※海外売上は、豪州と米州で約80%前後を占めております。その他海外は、アジア、欧州となっております。

※米州には、北米と南米の事業が含まれます。

【海外 主要地域別の売上高の状況】

- ・豪州は、皮革事業の見直しによる販売数量減などにより、6.2%の減収。
- ・米州は、豚生体価格の低迷などにより、4.5%の減収。

【地域別利益の状況】

- ・豪州は、コスト削減策や、生産性の改善策の実施により黒字化。
- ・米州は、豚肉の輸出販売量の増加などにより改善したが、養豚事業の飼料価格高騰により、依然厳しい状況。
- ・海外トータルでは、約18億円の改善となり黒字化。

2009年3月期の見通し

1.加工事業本部の見通し

2.食肉事業本部の見通し

3.関連企業本部の見通し

●売上の拡大策

・中元ギフトの目標

・主要ブランド・新商品の拡販

・チャネル別の売上状況

【中元ギフト販売個数 08年3月期実績と09年3月期目標】

	中元ギフト販売個数	(単位:千個・%)
2008年3月期実績	1,601	
2009年3月期目標	1,700	
前年比	106%	

【09年3月期第1Q 主要ブランド商品売上高前年比】

シャウエッセン群	106%	中華名菜群	90%
森の薫りウィンナー	121%	石窯工房群	134%
ウィニー群	102%	プリフライ群	97%
これは便利群	101%	ハンバーグ・ミートボール群	88%

【09年3月期第1Q チャネル別売上金額伸び率】

	コンシューマー	業務用	計
ハム・ソーセージ	103%	95%	100%
加工食品	99%	111%	105%

●課題2. 主原料・副資材価格の高騰額見込み

・期初の見通し : 通期 66億円のコストUP



・第1四半期時の見通し : 通期91億円のコストUP

●課題3. コスト吸収政策の進捗 (価格改定の進捗)

・期初の計画 : 通期で83億円の改善計画



・第1四半期時の計画 : 通期で93億円の改善計画

	期初 通期見込み額	第1四半期時 通期見込み額	第1Q 高騰額
主原料価格上昇額	22億円	41億円	11億円
資材価格・物流費等上昇額	44億円	50億円	9億円
合計	66億円	91億円	20億円

・第1Qの高騰額は、約20億円となった。

	2009年3月期 期初計画	2009年3月期 第1Q時計画	2009年3月期 第1Q実績
製造部門の改善活動効果額計画	25億円	35億円	14.5億円
価格改定効果額計画	47億円	47億円	11億円
営業部門の構造改革効果額計画	7億円	7億円	2億円
品種統廃合効果額計画	4億円	4億円	0.5億円
合計	83億円	93億円	28億円

・第1四半期は約28億円の効果額で、コスト上昇額を吸収した。

●海外事業の現状

◆豪州事業の現状

第1四半期は、生産部門のコスト削減の効果と、外部環境の好転により、黒字化。

◆米州事業の現状

第1四半期は、昨年同様、穀物飼料価格の高騰が豚肉生体相場に反映されず苦戦。

●国内生産事業の現状

・飼料価格の高騰

・国内ファーム会社における生産量の拡大

・今後の相場の見通し

●海外事業の見通し

◆豪州事業の見通し

- ・コスト削減策や生産性の向上の効果は着実に出ている。
- ・生体の集荷競争の落ち着きによる価格安定、世界的な需要増による販売価格の上昇など、外部環境も改善傾向にある。

◆米州事業の見通し

- ・飼料価格は、乱高下はあるものの、高値安定で推移する見通し。
- ・米国内の豚肉の生体相場は上昇しているが、飼料価格の高騰を吸収しきれず、年内は厳しい環境となる見込み。

●国内生産事業の見通し

- ・飼料価格は、下期以降は更に上昇する見通し。
- ・消費者の国産志向に対応し、特に需要が高まっている鶏肉について、生産数量拡大の方向で検討。
- ・当面は高値安定で推移する見通しだが、先行きは不透明であり、予断を許さない状況。

●水産事業の現状

- ・寿司ネタや、輸入原料の国内加工会社向け販売が順調に推移し、収益も改善。

●今後の見通し

- ・世界的な水産物需要増と漁獲量不足で、原料相場の高騰は下期以降も続く見通し。
- ・国内でのマグロ養殖事業の立ち上げなど、原料調達力の強化を図る。
- ・ロシア・EUの水産原料を活用した三国間貿易の拡大を図る。

●乳製品事業の現状

- ・チーズは、価格改定が順調に進み、売上・利益ともに改善傾向。
- ・ヨーグルトは、主原料不足と、原料価格の高騰により厳しい状況。

●今後の見通し

- ・乳製品原料価格は、下期以降も上昇する見通し。
- ・今後も、原料価格の動向に応じて、値上げを検討。
- ・併せて、チーズ、ヨーグルトともに、新商品の投入や大口ユーザーや新規販路の開拓を実施し、収益性の向上を図る。

●主原料・副資材価格の上昇額見込み

・期初の見通し : 通期 17億円のコストUP



・第1四半期時の見通し : 通期 22億円のコストUP

	期初 通期見込み額	第1四半期時 通期見込み額	第1Q 高騰額
水産原料上昇額	2億円	2億円	0.4億円
乳製品原料上昇額	15億円	20億円	9.3億円
合計	17億円	22億円	9.7億円

・第1四半期の上昇額は、約10億円となった。

2009年3月期 第1四半期財務データ

1. 販管費・その他収益・その他費用
2. 貸借対照表、設備投資額・減価償却費

連結業績概要 (販管費・その他収益・その他費用)

(単位: 百万円、%)

《販管費》	2008年3月期	2009年3月期		
	第1Q実績	第1Q実績	対前年増減率	対前年増減額
販売費及び一般管理費	42,407	41,789	△ 1.5	△ 618
人件費	18,942	17,652	△ 6.8	△ 1,290
販売促進費	2,912	2,825	△ 3.0	△ 87
物流費	8,380	8,726	4.1	346
その他	12,173	12,586	3.4	413

主な増減要因

- ・販管費は、前期比約6億円の減少、販管費率は1.3ポイント減少。
- ・人件費：子会社の退職給付費用の減少などにより前期比約13億円の減少。
- ・物流費：原油価格の高騰による運賃の増加などにより、前年比約3億円の増加。

(単位: 百万円、%)

《連結その他収益・その他費用》	2008年3月期	2009年3月期		
	第1Q実績	第1Q実績	対前年増減率	対前年増減額
その他収益合計	1,484	3,362	126.5	1,878
受取利益・配当金	305	366	20.0	61
為替差益	1,156	2,989	158.6	1,833
その他	23	7	△ 69.6	△ 16

支払利息	719	683	△ 5.0	△ 36
その他費用合計	721	568	△ 21.2	△ 153
有価証券評価損	47	1	△ 97.9	△ 46
固定資産減損	0	275	-	275
特別退職金	542	110	△ 79.7	△ 432
その他	132	182	37.9	50

主な増減要因

- ・その他収益 合計：為替差益の増加などにより前期比約19億円の増加。
- ・その他費用合計：固定資産減損の増加、特別退職金の減少などにより約2億円の減少。

連結業績概要 (貸借対照表、設備投資額・減価償却費)

(単位: 百万円、%)

《連結貸借対照表》	2008年3月期 期末実績	2009年3月期 第1Q実績	対前期末 増減率	対前期末 増減額
資産合計	608,809	643,568	5.7	34,759
現金及び現金同等物	44,249	60,543	36.8	16,294
売上債権	110,084	115,394	4.8	5,310
棚卸資産	112,218	124,004	10.5	11,786
投資及び長期債権	31,722	32,523	2.5	801
有形固定資産	246,874	245,752	△ 0.5	△ 1,122
長期繰延税金資産	12,954	12,691	△ 2.0	△ 263
負債合計 (少数株主持分含む)	321,352	349,999	8.9	28,647
支払手形及び買掛金	87,296	102,370	17.3	15,074
有利子負債	183,539	194,127	5.8	10,588
退職金及び年金債務	14,299	13,897	△ 2.8	△ 402
資本合計	287,457	293,569	2.1	6,112

主な増減要因

- ・棚卸資産 : 主に季節要因による食肉在庫の増加。前年同期比では約8億円の減少。
- ・売上債権 : 売上高増加により、前期比約53億円の増加。
- ・有利子負債 : 運転資金の増加による短期借入金の増加などにより、前期比約106億円の増加。

(単位: 百万円、%)

《設備投資額、減価償却費》	2008年3月期 第1Q実績	2009年3月期 第1Q実績	対前年増減率	対前年増減額	2009年3月期 通期計画
設備投資額	4,144	4,705	13.5	561	21,000
生産設備	1,732	1,791	3.4	59	8,400
販売・物流設備	314	882	180.9	568	3,400
ファーム・処理設備	785	346	△ 55.9	△ 439	2,900
海外事業設備	497	717	44.3	220	2,600
その他設備	816	969	18.8	153	3,700
減価償却費	5,764	5,879	2.0	115	24,000

〒141-6014 お問合せ先
東京都品川区大崎2-1-1
ThinkPark Tower 14階
日本ハム株式会社 広報IR部
電話:03-6748-8024
FAX:03-6748-8189

見通しに関する注意事項

この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれています。
これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見通しです。
また、経済環境、市場動向、為替レートなどの外部環境の影響があります。
従って、これら業績見通しのみに全面的に依拠することはお控え頂きますようお願い致します。
また、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おき下さい。